様式１

観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年７月　３１日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）鳥取中部観光推進機構	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 鳥取県　倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町 岡山県　真庭市蒜山エリア	
所在地	鳥取県倉吉市	
設立時期	平成２８年１月１８日	
事業年度	４月１日から翌年３月 31 日までの１年間	
職員数	７人【常勤７人（正職員７人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 会長　中島伸之 （株）望湖楼	はわい温泉・東郷温泉旅館組合の組合長。地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、圏域外（県東部、西部）との連携事業として圏域外周遊バスツアー実施、インバウンド事業において中国南京からの国有企業の招請による交流事業など幅広い取組で成果を挙げている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 蔵求　康宏「専従」 （出身組織名） とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会	とっとり梨の花温泉郷広域観光協議会事務局長。鳥取県中部圏域の広域観光に 20 年以上携わり、地域素材を活用した着地型観光商品造成など手がけ、観光地域マーケティングについて知見と能力を持つ。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 蓑原　育美「専従」 （出身組織名）	前職の、民間企業における会計経験を持ち、人事管理、給与、保険業務等にも長けた財務管理に適した人材である。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材）	（氏名） 大村光輝「専従」 （出身組織名）	旅行業取扱管理者資格を有し、観光商品造成及び管理、地域団体との調整を行い旅行ＡＧＴとの契約、手配を行うとともに、地域ＯＴＡ「ここいこ

<table>
<tr><td>※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右横に「専従」と記入すること</td><td></td><td>予約」の運営管理担当し、データ分析及び観光戦略立案を担う。</td></tr>
<tr><td>各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）</td><td>（氏名）
蓑原育美
（出身組織名）</td><td>海外旅行ＡＧＴとのパイプ構築並びに旅行情勢等の情報収集に長け、国外でのセールスプロモーションにおいても圏域内において必要不可欠な人材であり、またインバウンド受入に対する地域整備を担当する。</td></tr>
<tr><td>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</td><td colspan="2">倉吉市観光交流課、三朝町企画観光課、湯梨浜町産業振興課、琴浦町商工観光課、北栄町産業振興課、鳥取中部ふるさと広域連合中部創生課
（資本整備・鳥取中部広域観光ビジョン策定・地域整備）</td></tr>
<tr><td>連携する事業者名及び役割</td><td colspan="2">各市町観光協会（着地型旅行商品）
鳥取中央農業協同組合、鳥取中部土産品協会（ふるさと名物の開発）
日本交通株式会社、日ノ丸自動車株式会社、ＪＲ西日本（アクセス改善）、各旅館組合（宿泊提供）、施設ネットワーク協議会（観光施設による魅力向上）、商工会議所（他の業種との連携支援）</td></tr>
<tr><td>官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</td><td colspan="2">行政、観光協会、旅館組合、商工会議所、交通事業者、農業協同組合、観光土産品協会等２４の団体で構成されており、法人の決定機関として理事会を設置する。
行政機関については、鳥取中部ふるさと広域連合の基幹会議（首長会議及び副市町長会議）において広域観光推進の方向性を整理する。
定期的に行政機関や民間団体などとの戦略会議を開催して、意見交換や取り組み方針の確認を行う。調整を実務者レベルで行う幹事会を開催</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td colspan="2">経済団体及び住民活動団体への DMO 取り組みに関する当機構による講演会を実施
ライオンズクラブ、ロータリークラブ、商工会議所、ＴＫＣ、倫理法人会、倉吉市総合戦略推進委員会、公共交通協議会等</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td colspan="2">【活動の概要】
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・令和元年～
国内外セールスプロモーション事業
ＷＥＢ情報事業
ＳＮＳ情報発信事業
・令和２年～
プロモーション動画作成・広告事業
・地域ＯＴＡ構築（観光庁事業）
・令和３年度～
デジタル化推進事業　「ここいこｍａｐ」整備</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>・令和元年度～
言語翻訳サービス事業（有料）
スキルアップ講習会開催　（接客マナー、マーケティング、ＳＮＳ検定、グリーンツーリズム他</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

様式１

		Wi-Fi ルーターレンタル（有料）（令和４年廃止） レンタサイクル事業 各種交通商品取り扱い 乗り放題手形、２ＤＡＹパス等 スタンプラリー実施　癒しの旅ワークスペース運用開始
	観光資源の磨き上げ	・令和元年度～ 広域観光商品造成事業 ミュージアム周遊クーポン（観光４施設回遊クーポン） とっとりトレンド（宿泊施設→道の駅連携） 観光商品検証事業 地域別観光商品集約、プロモーションに伴う反応共有 モニターツアー（観光関係者）新規・既存商品体験 着地型観光商品造成事業　説明会講師派遣 高付加価値商品造成・販売

【定量的な評価】

〇平成 23 年度からインバウンドを実施

観光客数（国内）Ｒ５　5,537,276 人　Ｒ６　5,754,341 人

宿泊者数（国内　Ｒ５　515,654 人　　Ｒ６　533,302 人

宿泊客数（国外）Ｒ５　12,525 人　　Ｒ６　22,799 人

〇周遊性向上事業実施における実績

＜デジタルスタンプラリー＞

利用者数　Ｒ５　1,712 名　→　Ｒ６　2,564 名

〇旅行会社との契約実績

日本旅行（おとなびジパング）　ＪＴＢ

クラブツーリズム　海外旅行会社（台湾：鳳凰旅行社　韓国：ＲｉｃｈＪＡＰＡＮ他）

実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。

【実施体制の概要】

行政・観光協会及び施設等と情報共有及び調整を行い、観光素材の掘り起し、商品企画の提案、着地型観光商品化への支援を行い観光客誘客に繋げる。異業種（農業、医療等）との調整協議を行い、地域の産業と観光を連携させた商品を提案する。地域観光情報集約による観光客及び国内外旅行ＡＧＴへの情報提供一元化を実現。個人及びグループ旅行客に対し圏域観光のコーディネート機能を活かし、宿泊手配、着地型観光商品、お土産品や特産品などの販売など柔軟なサービスを行う。

（実施体制図）

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】

＜温泉＞
三朝温泉
はわい温泉・東郷温泉
関金温泉

＜活用＞
泉質を活かした商品化
連泊に繋がる魅力創出
医療観光による活用

＜まんが＞
名探偵コナン作者の故郷・遥かな町へ・ひなビタ・温泉むすめ

＜活用＞
インバウンド誘致活用
日本の原風景文化

＜食＞
ご当地ソウルフード
農海産物

＜活用＞
グルメイベント開催
素材活用着地商品開発

＜歴史＞
重要伝統的建造物群保存地区

＜活用＞
町屋再生による商品化
ターゲット層への展開

【区域設定の考え方】

区域は鳥取県中部圏域と岡山県真庭市蒜山地域。
Ｈ１７年に協議会を設立。
行政、観光協会、ホテル・旅館組合、交通事業者、その他商工会議所、農業協同組合、観光土産品協会等合計２４の団体が加盟。顧客視点に立ち、旅行商品の開発、受入環境整備、一元的な情報発信等連携した取組を実施。また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。

【観光客の実態等】

中高年層が多く、６～７割近くが女性（旅行会社等への聞き取り&アンケート調査等）
インバウンドは、韓国、香港、台湾、中国の順に入込は増えつつある。
国内に関しては団体ツアーが増えつつ、個人観光客は増加傾向。
海外は、団体から小グループ、個人へ変化している。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】
三朝・はわい・東郷・関金４つの温泉地、日本遺産、重要伝統的建造物群保存地区、グルメ（農産物・海産物・果実・牛骨ラーメン・あごカツカレー）、アニメコンテンツ（名探偵コナンの作者のふるさと、ひなビタ、温泉むすめ等）、スポーツ（グラウンドゴルフ・ウオーキング・スポーツクライミング等）

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】
構成団体に加盟する宿泊施設：施設数５５軒、客室数約１５００部屋、収容人数約５５００人。

【利便性：区域までの交通、域内交通】
・航空便：東京-鳥取空港、東京-米子空港、ソウル-米子空港直行便（休）、香港-米子空港直行便（休）連絡バスあり
・鉄道：大阪から直通特急で３時間
・車：大阪から３時間２０分、広島から４時間
・高速バス：神戸から３時間、大阪から３時間３５分
※圏域内は主要観光地・宿泊地まで路線バス

【外国人観光客への対応】
平成 22 年度からインバウンド誘客に向けた取り組みを開始。受入環境整備、海外旅行会社へのプロモーション、自ら主催のＦＡＭツアーの実施、外国人対応の圏域内のバスツアーの企画を行ってきた。山陰限定通訳案内士の活用を積極的に行う。観光資源においては、商品として造成し、国内外旅行ＡＧＴに向けてセールスを積極的に行う。また付加価値の高い商品化についても積極的に造成を行っている。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	各旅館組合宿泊者数データを活用して実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	アンケート調査を自主事業として実施。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	情報発信効果及び地域に対する興味度検証	Google アナリティクス等を活用して実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	今後検討

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

当圏域では人口減少傾向が大きな問題となり、地域産業の要でもある農林水産業においても就業者が少なく担い手不足による廃業が進んでいる。また、安定した収入が得られない業種が多く、パートでの就業者が多く「農業」「観光（宿泊施設）」の掛け持ちをする人も少なくない。こういった地域の課題を観光地域づくり法人として、地域の産業連動による新たな商品造成による経済効果、多種多様の業務受託による地域企業との協働により、観光における地域づくりを目指し、地元の若年層への就業提供、人口減少への歯止め、また交流人口の増加につなげたいと考える。

（２）地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ・天然資源「温泉」 ・日本遺産登録 ・農林水産業による豊富な食	弱み（Weaknesses） ・資源に頼りすぎた商品戦略不足 ・デジタル化の遅れ ・人材育成及び定着化
外部環境	機会（Opportunity） ・鳥取県メディア露出 ・鳥取砂丘、水木しげるロード	脅威（Threat） ・地域価値を知り得ない地域 ・先行投資型ではない地域性

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

〇第１ターゲット層
※ターゲット層については、地域だけでなく、国・地域・世代・誘客のテーマ等の顧客の属性による設定が考えられる。
（例）香港・台湾を中心とした東南アジア、３０～５０代のリピーター

〇選定の理由
※４．戦略（１）・（２）の分析を踏まえたターゲット層の設定であることを説明すること。
（例）他地域と比較して当該ターゲット層の来訪が著しく多く、また市場としても今後拡大傾向にあるため。

〇取組方針
（例）満足度調査の充実などにより再来訪意向につながる要因を分析し、分析結果に基づいてターゲット層に強力に訴求するコンテンツを磨き上げる。

〇第１ターゲット層
台湾人・香港人旅行者の獲得

〇選定の理由、〇取組方針
　米子－香港定期直行便の休航中ではあるが、親日でもある台湾・香港からの観光客はこれまでの宿泊客入込データを参考にしつつ、現地旅行ＡＧＴへのセールスを踏まえ手応えを感じていることもあり

積極的に誘客を図りたい。 香港・中国・台湾の旅行会社へプロモーションを行うとともに、観光客に受け入れられるコンテンツ（フルーツ・カニ・鳥取和牛・青山剛昌ふるさと館・癒しをテーマとした温泉と医療観光など）を発信していく。
○第２ターゲット層 国内　女性フレイル層の獲得
○選定の理由、○取組方針 現在、ここいこキャンペーン等のアンケート結果及び各種デジタルアンケートを基にシニア女性層の集客実績の比率が大きいことから、シニア層でもフレイルである層への「癒し」のツボを捉え、旅体験選択肢の幅・深みを拡げる。癒される旅をメーキング。次世代への拡充も視野に入れる。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	**『フレイルなシニア層に、温泉郷の癒しを、広域連携で懐深い受け皿を』** “幸福な温泉郷” 広域連携で、シニア女性層の「癒し」のツボを捉え、旅体験選択肢の幅・深みを拡げる。更に人材研修やフレンドリー制度の導入により、シニアのインサイトに沿ったサービス力改善向上を目指す。
②コンセプトの考え方	○フレイルなシニア層に、温泉郷の癒しを、 ＜戦略ターゲット・シニア女性層・60 歳以上＞ ①急速に伸びる有望シニア市場。それは“梨の花温泉郷”の重要顧客層になりつつあった。 ②「こころ・身体がフレイル」な状態にあり、癒し・リフレッシュを強く求めている。特に、60 歳代は「時金」持ち。 ※「日本政府統計局 公開データ」 50 歳代 60 歳代の自由時間や可処分所得の比較より ③シニア女性層の特徴が、連れ立っての旅行動。娘・息子含む孫子世代や、パートナーや女子旅などグループ 行動が顕著で、派生需要を見込める。　※日本旅行業協会「高年層における諸侯意識に関する調査」 ○フレイルなシニア層に、広域連携で懐深い受け皿を ＜戦略ターゲット・シニア女性層・60 歳以上＞ ①　「三朝温泉」「倉吉市街地」「はわい温泉」に集積する宿泊拠点が、旅の基点と体験の多彩な組合せを創起。 ② 連れ立って旅行の場合、子孫世代や同行者の異なる旅のウォンツを満たす旅体験選択肢の幅と深さ。 ③ 自然と人の共生する “幸福な温泉郷” だからこそ提供出来る「やさしさと癒し」　広域連携で更に切磋琢磨。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要

様式１

戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	広域観光戦略会議、担当者会、ＭＬ 鳥取中部ふるさと広域連合報告
	１．広域戦略会議 ＜構成＞　年３～４回 各市町（担当課長） 鳥取県中部総合事務所 鳥取中部ふるさと広域連合 行政サイドからの意向反映及びＤＭＯ事業においての進捗管理、業務状況についての報告を目的とする。 ２．担当者会　年５～６回 ＜構成＞ 各市町＜実務者＞ 各市町観光協会＜事務局長級＞ 各旅館組合＜事務局長級＞ 各地域観光取組み事業を共有し、広域的な取り組みへと展開する。ＤＭＯ事業の情報共有と要望を聴取する場として設置。 ３．鳥取中部ふるさと広域連合　連合会議　年２回　議会年１回 ＜構成＞　連合会議 各市町　首長 ＤＭＯ事業とふるさと広域連合広域観光ビジョンとの整合性と進捗状況、方向性と年度事業計画について審議する場。 ＜構成＞　議会 各市町議員（１市４町　議長・副議長等＞ 出資法人としての運営状況（特に財務）を全員協議会にて質疑等を行いＤＭＯ組織と観光振興を認識する場。 ２．異業種との協議 ＜異業種＞ ①医療　　医療観光（温泉を活用したインバウンド保養プラン） ②農業　　海外輸出ルート確保（併せて加工品等輸出） ③その他　　不動産観光、インバウンドゲストハウス etc ビジネスチャンスが到来した際に稼働できるよう継続的に協議を進める。
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	インバウンド獲得に向け、飲食店・土産品店舗の表示等への支援事業を実施予定。また独自の観光マイスター制度の構築などにも取り組む。 飲食店・土産品店舗表示支援 ①多言語による商品表示記載支援 ②多言語化翻訳サービス提供（有料） 観光マイスター制度構築 山陰限定通訳案内士活用（インバウンドオペレーター登録制度設置）

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	ワンストップ窓口化に向け旅行業を取得し、宿泊予約、着地型観光商品販売、土産品（カニ、白いか、鳥取和牛等）の購入等が可能なサイト構築の他、観光客の受地整備としてWi-fiルーターレンタルサービス（有料）、海外観光客受入に対する通訳サービス（有料）及び事前に登録した商店・旅館等への電話による通訳サービス（救急対応含む）（有料）を整備し、これらの取り組みに係る情報を観光客及び旅行ＡＧＴへ一元的に発信・提供すると共に、ＳＮＳを利用した効果的なプロモーションを展開する。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●旅行消費額（円）（一人当たり単価）	目標	30,500	31,000	31,500	32,000	33,000	34,000
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	40,080	43,220	45,860			
		(-)	(-)	(-)			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	635,000	640,000	645,000	650,000	655,000	660,000
		(40,000)	(45,000)	(50,000)	(55,000)	(60,000)	(65,000)
	実績	463,904	515,654	533,302			
		(1,827)	(12,525)	(22,799)			
●来訪者満足度（%）	目標	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	55.3	56.3	62.5			
		(-)	(-)	(-)			
●リピーター率（%）	目標	71	70	69	68	67	66
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	92.8	92.5	89.3			
		(　)	(　)	(　)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・鳥取県の観光施策及び鳥取中部広域観光ビジョンをとの整合性を保ちつつ、連携強化を図るべく、鳥取県が収集するデータを参考に目標を設定する。
・旅行消費額及び宿泊者数、来訪者満足度、リピーター率いずれも各機関の報告資料により設定。イベント及び聞き取り、ネットによるキャンペーンのアンケート調査は、平成２８年度から実施し、外国人観光客（台湾等）については同様のアンケートを実施する予定。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
鳥取県　観光入込動態調査結果を踏まえつつ設定。宿泊地を有し、着地型観光商品などの販売を積極的に行い、毎年２%の増加を目標に掲げている。
●延べ宿泊者数
従前の協議会から集約したデータ分析を行い目標値設定。H27 に関しては 60 万人を超える実績から毎年 1%増を見込んで目標値を設定する。
●来訪者満足度
申請時は、公財）日本交通公社　JTBF 旅行実態調査を参考に設定。アンケート実施 R4 に関しては目標を超える数値とはなるものの、サンプル量が少ないため一定の参考とし、目標値については従前の目標 0.5 ポイント加算で R6.R7 目標を設定とした。
●リピーター率
鳥取県　観光入込動態調査結果を踏まえつつ設定を行う。アンケート実施 R5 に関しては目標を超える数値とはなるものの、サンプル量が少ないため一定の参考としつつも、新規客獲得を目指す方向性を重視し、マイナス 1 ポイント減算で R7.R8 目標を設定とした。

（２）その他の目標

指標項目		2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度	2026（Ｒ８）年度	2027（Ｒ９）年度
●再来訪期待度（%）	目標	96	97	98	98	98	98
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	91.4	91.2	91.6			
		(-)	(-)	(-)			
●宿泊来訪率（%）	目標	56	57	58	59	60	61
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	実績	67.4	65.2	65.8			
		(-)	(-)	(-)			
●新規獲得組数（組）	目標	-	12,053	12,414	12,786	13,170	
		(-)	(1,000)	(1,200)	(1,400)	(1,600)	(1,800)
	実績	11,702	12,128	13,650			
		(-)	(200)	(350)			
●（例）メディア掲載回数（回）	目標						
		(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績						
		(　)	(　)	(　)			
●	目標						
		(　)	(　)	(　)	(　)	(　)	(　)
	実績						
		(　)	(　)	(　)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】
・鳥取県の観光施策及び鳥取中部広域観光ビジョンをとの整合性を保ちつつ、連携強化を図るべく、鳥取県が収集するデータを参考に目標を設定する。
・鳥取県の県内観光データを参考にしつつ、再来訪期待度、宿泊来訪比率の設定値はイベント及び聞き取り、ネットによるキャンペーンのアンケート実績により設定。平成２８年度から実施し、引き続き実施するとともに、外国人観光客については今後ランド業務等を実施するなかでアンケート調査を実施していく方向である。
【設定にあたっての考え方】
●再来訪期待度
鳥取県観光統計調査を踏まえつつ、H28 から独自で実施している。アンケートに基づき目標を設定。次年度からは毎年１ポイントを加算した目標を設定する。
●宿泊来訪比率
鳥取県観光統計調査を踏まえつつ、H28 から独自で実施している。アンケートに基づき目標を設定。毎年１ポイントを加算した目標を設定する。
●新規獲得組数
地域一体となった観光地の再生・観光サービス高付加価値化事業参画宿泊施設からのデータを収集し、サンプル５施設平均値として設定する。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４）年度	106,036,211（円）	**【市町村・観光関連団体等からの会費】**4,650,000 **【各種請負業務収入】**51,513,657 **【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】**7,000,000 **【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】**34,565,680 **【補助金等】**8,306,350 **【雑収入】**524
2023（Ｒ５）年度	70,160,581（円）	**【市町村・観光関連団体等からの会費】**4,490,000 **【各種請負業務収入】**24,772,834 **【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】**7,000,000 **【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】**30,000,000 **【補助金等】**3,879,272 **【雑収入】**18,475
2024（Ｒ６）	95,322,812（円）	**【市町村・観光関連団体等からの会費】**4,690,000

様式１

年度		【各種請負業務収入】53,570,087 【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】 7,000,000 【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】 30,000,000 【補助金等】 0 【雑収入】 62,725
2025（Ｒ７） 年度	72,600,000（円）	【市町村・観光関連団体等からの会費】4,690,000 【各種請負業務収入】 30,900,000 【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】 7,000,000 【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】 30,000,000 【補助金等】 0 【雑収入】 10,000
2026（Ｒ８） 年度	72,600,000（円）	【市町村・観光関連団体等からの会費】4,690,000 【各種請負業務収入】 30,900,000 【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】 7,000,000 【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】 30,000,000 【補助金等】 0 【雑収入】 10,000
2027（Ｒ９） 年度	72,600,000（円）	【市町村・観光関連団体等からの会費】4,690,000 【各種請負業務収入】 30,900,000 【鳥取中部ふるさと広域連合等からの補助金等収入】 7,000,000 【県・鳥取中部ふるさと広域連合等からの受託事業】 30,000,000 【補助金等】 0 【雑収入】 10,000

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2022（Ｒ４） 年度	98,948,629 （円）	【デジタル化推進事業】 5,057,237 【アニメカルチャーコンテンツ育成事業】 232,028 【情報発信事業】 2,132,195 【インバウンド誘客対策事業】 1,645,857 【観光スキルアップサイト構築事業】 839,548 【ワーケーション整備計画策定事業】1,178,757 【おもてなし・受入環境整備事業】 8,485,023 【収益事業等】 41,735,534 【人件費】26,691,851 【管理費】10,950,599

様式１

2023（Ｒ５）年度	66,318,350（円）	【デジタル化推進事業】 3,848,661 【アニメカルチャーコンテンツ育成事業】 479,198 【情報発信事業】 3,047,428 【インバウンド誘客対策事業】 1,800,114 【観光スキルアップサイト構築事業】 618,254 【ワーケーション整備計画策定事業】 683,390 【おもてなし・受入環境整備事業】 4,265,001 【収益事業等】 15,662,985 【人件費】24,524,697 【管理費】11,388,622
2024（Ｒ６）年度	94,194,469（円）	【鳥取中部イメージづくり事業】 3,257,160 【地域魅力観光商品造成事業】 327,316 【おもてなし基盤づくり事業】 885,024 【情報発信事業】 2,472,218 【セールスプロモーション事業】 3,510,755 【広域観光体制整備事業】 561,240 【おもてなし・受入環境整備事業】 1,426,759 【収益事業等】 39,938,269 【人件費】28,796,976 【管理費】13,018,752
2025（Ｒ７）年度	69,838,690（円）	【鳥取中部イメージづくり事業】 2,700,000 【地域魅力観光商品造成事業】 700,000 【おもてなし基盤づくり事業】 1,180,000 【情報発信事業】 1,500,000 【セールスプロモーション事業】 3,042,000 【広域観光体制整備事業】 3,726,000 【おもてなし・受入環境整備事業】 1,944,000 【収益事業等】 16,431,000 【人件費】27,622,857 【管理費】10,992,833
2026（Ｒ８）年度	69,900,000（円）	【鳥取中部イメージづくり事業】 2,700,000 【地域魅力観光商品造成事業】 700,000 【おもてなし基盤づくり事業】 1,180,000 【情報発信事業】 1,500,000 【セールスプロモーション事業】 3,042,000 【広域観光体制整備事業】 3,726,000 【おもてなし・受入環境整備事業】 1,944,000 【収益事業等】 16,431,000 【人件費】27,622,857 【管理費】11,054,143
2027（Ｒ９）年度	69,900,000（円）	【鳥取中部イメージづくり事業】 2,700,000 【地域魅力観光商品造成事業】 700,000 【おもてなし基盤づくり事業】 1,180,000 【情報発信事業】 1,500,000 【セールスプロモーション事業】 3,042,000 【広域観光体制整備事業】 3,726,000 【おもてなし・受入環境整備事業】 1,944,000 【収益事業等】 16,431,000 【人件費】27,622,857 【管理費】11,054,143

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

地域の着地型観光商品を取りまとめ、着地型商品冊子を作成し、日本全国の旅行会社へセールスプロモーションを展開する（実施中）。また、旅行業を取得した後、大手旅行会社ではセールスが困難な着地型観光商品の販売、宿泊予約、特産品等の斡旋なども積極的に行い財源確保に努める。

また、海外の旅行ＡＧＴを中心にランド契約による手配収益、ＨＰ作成管理請負業務、観光商品企画作成、広告宣伝業務などの収益事業を展開する。

①旅行業（２種取得）
　受注型企画旅行
　　・行政主催 FAM ツアー受託
　　・手配業務（コンベンション等）
　　・着地型観光商品販売
②通訳・翻訳業務
　通訳
　　・通訳案内業務（ツアー・FAM 等）
　　・通訳（会議・商談会等）
　翻訳
　　・言語翻訳業務（韓国・中国・英語）
③レンタル業務
　空撮
　　・レンタサイクル（電動３台　通常　８台）
④制作（販促物・WEB）
　販促物
　　・デザイン
　　・印刷（ポスター、チラシ等）
　ＷＥＢ
　　・制作、デザイン、管理
⑤マーケティング
　デジタルアンケート分析

※宿泊税に関して今後検討する

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、鳥取中部ふるさと広域連合は、一般社団法人鳥取中部観光推進機構を当該都道府県及び市町における地域連携ＤＭＯとして登録したいので一般社団法人鳥取中部観光推進機構とともに申請します。

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

エリアが重複する地域ＤＭＯとは、定期的に会議を開き、各取組の意見交換を行っている。

【区域が重複する背景】

岡山県真庭市（蒜山観光協会）圏域内として加盟後に（一社）真庭市観光局が地域ＤＭＯ登録となり重複

【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】

重複圏域区域は真庭市の蒜山観光協会圏域のみ。インバウンドに対するプロモーション、ＦＡＭツアー誘致は全て当機構が担当する。観光商品化及び造成については真庭市観光局または蒜山観光協会において実施する役割となる。

【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

各々の役割に専念することで洗練された提案、活動が可能となる。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	蔵求　康宏
担当部署名（役職）	事務局長
郵便番号	682-0021
所在地	鳥取県倉吉市上井 75-15
電話番号（直通）	0858-24-5024
ＦＡＸ番号	0858-24-5074
Ｅ－ｍａｉｌ	info-kokusai@nashinohana.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	鳥取中部ふるさと広域連合
担当者氏名	松井　博文
担当部署名（役職）	中部創生課（課長）
郵便番号	689-2111
所在地	鳥取県東伯郡北栄町土下 112 番地　北栄町役場北条庁舎 2 階
電話番号（直通）	0858-36-5213
ＦＡＸ番号	0858-36-1016
Ｅ－ｍａｉｌ	h-matsui@tottori-chubu.jp

様式１

都道府県･市町村名	鳥取県　中部総合事務所
担当者氏名	松田　祐作（課長補佐）
担当部署名（役職）	県民福祉局（課長補佐）
郵便番号	682-0802
所在地	鳥取県倉吉市東巌城町２番地
電話番号（直通）	0858-23-3290
ＦＡＸ番号	0858-23-3291
Ｅ－ｍａｉｌ	matsuday@pref.tottori.lg.jp

都道府県･市町村名	岡山県
担当者氏名	遠藤　圭一
担当部署名（役職）	産業労働部観光課 国内誘客班（総括参事）
郵便番号	700-8570
所在地	岡山県岡山市北区内山下 2-4-6
電話番号（直通）	086-226-7382
ＦＡＸ番号	086-224-2130
Ｅ－ｍａｉｌ	岡山県

都道府県･市町村名	倉吉市　経済観光部
担当者氏名	三谷　友理
担当部署名（役職）	観光交流課（主幹）
郵便番号	682-0822
所在地	倉吉市葵町 722
電話番号（直通）	0858-22-8158
ＦＡＸ番号	0858-22-8230
Ｅ－ｍａｉｌ	tourism@city.kurayoshi.lg.jp

都道府県･市町村名	三朝町
担当者氏名	漆原　良次
担当部署名（役職）	企画観光課文化観光振興室（室長）
郵便番号	682-0195
所在地	鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999-2
電話番号（直通）	0858-43-3514
ＦＡＸ番号	0858-43-0647
Ｅ－ｍａｉｌ	r-urushibara@town.misasa.tottori.jp

様式１

都道府県･市町村名	湯梨浜町
担当者氏名	宮川　紳
担当部署名（役職）	産業振興課商工観光係（参事）
郵便番号	682-0792
所在地	鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留 19 番地 1
電話番号（直通）	0858-35-5383
ＦＡＸ番号	0858-35-5376
Ｅ－ｍａｉｌ	miyagawas@yurihama.jp

都道府県･市町村名	琴浦町
担当者氏名	池本　康恵
担当部署名（役職）	商工観光課（主任）
郵便番号	689-2392
所在地	鳥取県東伯郡琴浦町赤碕 1140-1
電話番号（直通）	0858-55-7801
ＦＡＸ番号	0858-55-7558
Ｅ－ｍａｉｌ	琴浦町

都道府県･市町村名	北栄町
担当者氏名	米田　岳司
担当部署名（役職）	産業振興課観光戦略室（主事）
郵便番号	689-2292
所在地	鳥取県東伯郡北栄町由良宿 431-2
電話番号（直通）	0858-37-3158
ＦＡＸ番号	0858-37-5339
Ｅ－ｍａｉｌ	yoneda@e-hokuei.net

都道府県･市町村名	真庭市
担当者氏名	広岡　寿史
担当部署名（役職）	産業観光部 産業政策課
郵便番号	719-3201
所在地	岡山県真庭市久世 2927-2
電話番号（直通）	0867-42-1033
ＦＡＸ番号	0867-42-1037
Ｅ－ｍａｉｌ	yoneda@e-hokuei.net

（登録）【地域連携】一般社団法人鳥取中部観光推進機構

様式2

記入日： 令和7年7月31日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
鳥取県　倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町
岡山県　真庭市蒜山エリア
【設立時期】 平成28年1月18日
【設立経緯】
①従前の広域観光組織を役割分担を明確化した上でDMO新設
【代表者】 会長　中島伸之
【マーケティング責任者（CMO）】 理事兼事務局長　蔵求康宏
【財務責任者（CFO）】 主査　蓑原育美
【職員数】 7人（常勤7人（正職員7人）
【主な収入】
収益事業　53百万円、委託事業　37百万円（6年度決算）
【総支出】
事業費　40百万円、一般管理費　41百万円（6年度決算）
【連携する主な事業者】
鳥取県　倉吉市　三朝町　湯梨浜町　琴浦町　北栄町
観光協会（6組織）　旅館組合（4組織）　商工会議所　交通事業者等

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年	2026（R8）年	2027（R9）年
旅行消費額（円）（一人当たり単価）	目標	30,500（－）	31,000（－）	31,500（－）	32,500（－）	33,000（－）	33,500（－）
	実績	40,080（－）	43,220（－）	45,860（－）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	635,000（40,000）	640,000（45,000）	645,000（50,000）	650,000（55,000）	655,000（60,000）	660,000（65,000）
	実績	463,904（1,827）	515,654（12,525）	533,302（22,799）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	25.0（－）	25.5（－）	26.0（－）	26.5（－）	27.0（－）	27.5（　）
	実績	55.3（－）	56.3（－）	62.5（－）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	71（－）	70（－）	69（－）	68（－）	67（－）	66（－）
	実績	92.8（－）	92.5（－）	89.3（－）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
①台湾・香港・・ファミリー及びFIT②国内フレイル・・60代以上の
女性層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
①台湾 香港・・・セールスマーケティングによる手応えと集客実現
度を実感。②国内フレイル・・シニア層における需要度を確実な
情報と魅力を提供する。【観光地域づくりのコンセプト】
「三朝温泉」「倉吉市街地」「はわい温泉」に集積
する宿泊拠点が、旅の基点と体験の多彩な組合
せを創起。癒しの旅を提供する

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・着地型観光商品造成支援実施。
・広域回遊性向上を企画、実施。
・地域の素材を掛け合わせた商品造成
・高付加価値化商品造成

【受入環境整備】
・スキルアップ・・・eラーニング
・多言語化支援（ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ育成）
・地域一体高付加価値化取り組み
22事業者が実施

【情報発信・プロモーション】
・国内外旅行AGT・・・セールス
・WEBによるデジタルマップ化
「ここいこmap」整備
・SNS等活用発信

【その他】
・香港輸出農産物
・1市4町海外トップセールス